

南池一若葉睦

みなみいけいちわかばむつみ

設立年 昭和五一（一九七六）年

設立経緯

そもそもお御輿の会として発足したもので、発足後に御会式の講へと変化した。



講の名前の由来

南池袋一丁目から「南池一」と名付け、他にも多くのお御輿の会があったので、それらの会と区別するために、あまり深い意味はもたず「若葉」という言葉を添えた。



特色

- 最初の頃の練供養参加者は全体で二百〜三百人規模であった。
- 太鼓の練習も精力的に行い、九月から四、五回ほど鬼子母神の境内などで練習を重ねている。

■五段の万燈は近所の絵描きさんに絵を描いてもらった自慢のもの。他の講に比べて大きく、四十五キログラムもの重量がある。

この万燈を腰に入れて「もむ（上下に揺らして枝をしなわせる動作）」が肝心。

■大事にしているのは「粋」

★16日の町内周りは行っていない

人が持ち上げる万燈は揺れるとキレイですね！でも45kgは重そう…



目白台睦会

めじろだいむつみかい

設立年 不明

昭和四九（一九七四）年頃復活

設立経緯

東京オリンピックのあった昭和三十年代は、道路事情の変化があるなどして目白台睦会は休止状態となっていたが、活動の継続が望まれて復活することとなった。

講の名前の由来

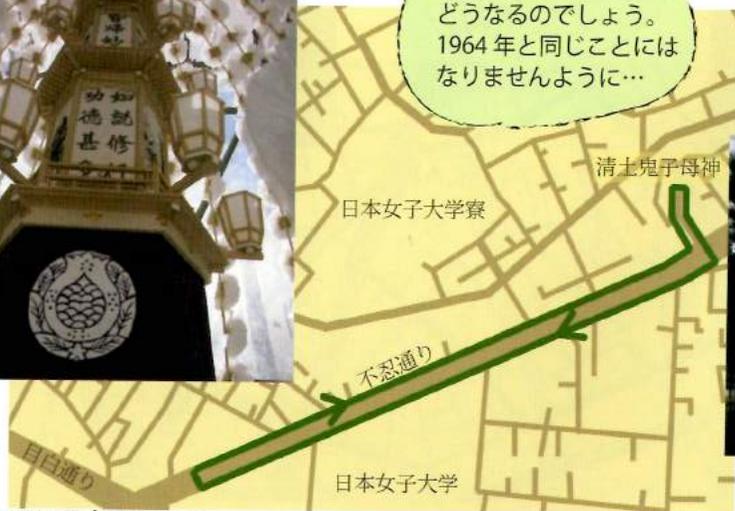
かつては、現在の目白台にあたる地名にちなんで文京区雑司ヶ谷西部睦会という名前だったが、町名の変化に伴って目白台睦会に改名した。

特色

- 地元の人を中心になって行っているが、それ以外の人も参加しており、十七・十八日になると百〜二百二十人ほどが練り歩く。
- 役職の中に「安全管理」の係りもあり、安全重視のルールを徹底して守っている。
- 文京区にある講社は唯一この目白台睦会だけであり、住民からの理解も得て活動している。
- 半纏は薄いグレーで、背中には紺色で「睦」の文字が書かれている。



来る2020年はどうなるのでしょうか。1964年と同じことにはなりませんように…



16日の町内周りルート

目白睦鬼神会

めじろむつみきじんかい

設立年 昭和五〇(一九七五)年

設立経緯

目白睦商工睦から分裂したのが始まり。地元の目白睦と遠征講である鬼神会を併せた形となっていて、目白睦商工睦の商工会の要素はなくなっている。

講の名前の由来

昭和五三年、目白睦と鬼神会が合体して目白睦鬼神会となった。

特色

- 希望者のみの参加という形で、池上本門寺への遠征に行っている。
- 万燈の花が大きく立派。
- 参加者を目白の人間に限っておらず、小中学校の同級生や先輩後輩など学校を通じた繋がりを頼りに参加する人が多い。
- 学校の後輩や子どもへと、次世代への移行が上手くいっている。



次世代へ文化が
つながっていくのは
大切なことですよね



16日の町内周りルート

目白睦商工睦

めじろむつみきしょうこうむつみ

設立年 昭和二三(一九四八)年

設立経緯

前身である高田商工会という講の活動が第二次世界大戦の影響で停止状態にあったのだが、戦後、新倉留吉という人が高田商工会と目白町会の有志とを統一させて設立した。

講の名前の由来

目白町会(の有志)と高田商工会を併せた睦であるため、目白睦商工睦となった。「目白商工睦」と略されることもある。

特色

- 燈籠が三重塔となっている立派な万燈。
- 若年層の纏の振り手が揃っている。
- 接待のメニューが豊富。現講元が氷屋を営んでいるため生ものの管理も可能で、メニューの幅広さの一端を担っている。
- 温和な人が多い。
- 「商売人」という同じ立場の人が多いためか講の中での団結力が強く、地域への配慮も欠かさないように心掛けている。



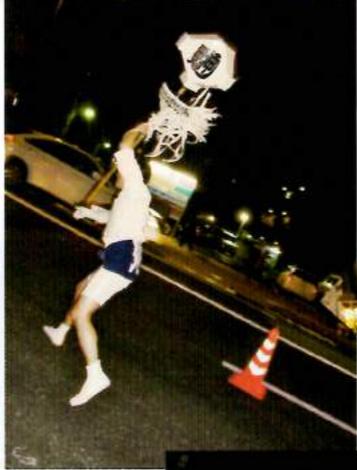
16日の町内周りルート

商店街パワー、素晴らしい!!



御会式写真展

ポン女生が撮った



全体の出来事		講の設立	
	江戸	三嶽中島講 (後に戦争で一時的に活動を中断)	
御会式の期間が 10月12～18日になる	明治 大正	1893 雑二講 (明治にまで遡る) (万人講(詳細不明)から派生?諸説有)	戦前から 東部睦会
第二次世界大戦	1939 1945	雑三宮元講 (大門宮元講のおおもと)	
御会式復興会による 練供養の再興(参加講社2講)	1948 1950	目白睦商工睦 (戦後休止状態から復活) 高田商工睦+目白町会	
万燈コンクール	1951 1957		
東京オリンピック開催	1961 1964	高田若睦 千登世若睦	
御会式新聞発行(高田若睦)	1970	(オリンピックの衰退から復活)	波羅門
御会式連合会発足	1974 1975 1976	目白台睦会 (休止状態から復活) 南池一若葉睦 目白睦鬼神会 (目白睦商工睦から分離)	
	1978	鵬輩 大門若睦 (雑三宮元講から派生)	
	1981 1982	高田南睦 三嶽中島講 活動再開 南和會	30年以上前 燈友会
	1990 1991	東池母神会 青葉睦 藍鼓	
	1998 2001 2002 2005	鬼熟蓮 紅嶺 表参道睦会	約15年前 大門宮元講 大門若睦+雑三宮元講
武田会長の就任			

※江戸時代に生まれた庶民信仰の空間一音羽と雑司が谷一、御会式新聞より一部出典